

令和7年度学校評価アンケート結果について

令和7年に実施した本校の教育活動に関するアンケート調査の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。児童数で調査し、385(370)通、54.9(49.7)%の回答をいただきました。ご多用の中、アンケートへのご協力に感謝いたします。

今回ご回答いただいたアンケートをもとに、来年度の教育活動を改善してまいります。

※グラフの数値には学校運営協議会、委員の回答も含まれていますので、全392件の結果が表示されています。

※()内の数値は令和6年度のものを表しています。

Ⅰ 学校における教育活動

① お子さんは自ら進んで授業をはじめとした学校の学習に取り組んでいますか。

■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



② 学校は、お子さんの進度や習熟度に応じた授業や学習支援を行っていますか。

■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



③ 学校は、子供同士で意見を交換したり、調べたりするなど、協働的・対話的な学びのある授業を行っていますか。

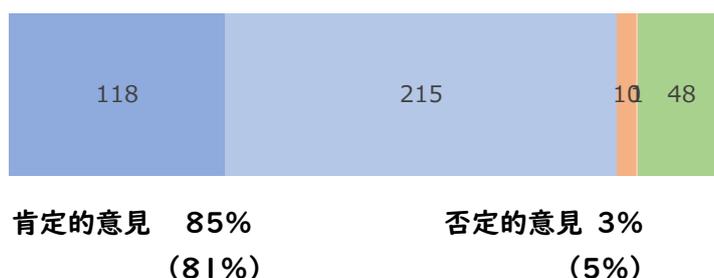
■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



④ 学校は、「シブヤ科」の学習を通して、自らの課題を設定して解決の見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進していますか。

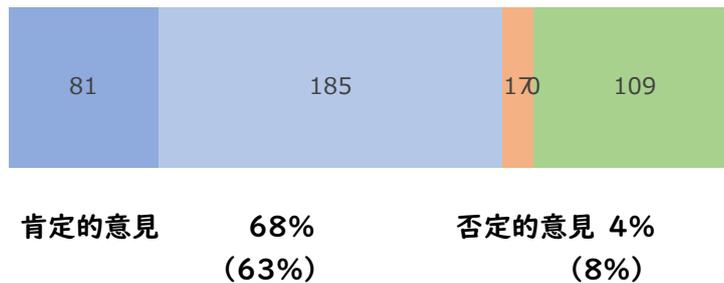
■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



⑤ 学校は、前出の設問1から設問4の授業を推進するために、お子さんのタブレット端末を効果的に使っていますか。

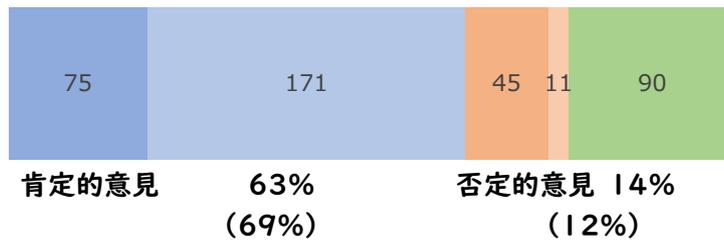
■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



【結果】

肯定的な意見としては、「シブヤ未来科をはじめ、自分の考えを発表する機会が多いので、私がお子さんの頃より圧倒的に物事について考えていると思いますし、アウトプットも上手だと思います。」「自分の考えを発表したり、友達と意見交換をしたりする機会が多く、意欲的に学習に取り組んでいる」「探究的な学習を通して、考える力や表現力が育っていると感じる」「PC端末を活用することで調べ学習や発表がしやすくなっている」といった声が寄せられ、子どもたちがPC端末を活用し、主体的に学びに向かう姿を評価していただいていることがうかがえました。

一方で、「低学年にはPC端末が重く、毎日の持ち帰りが負担になっている」「タブレットの使用が学習内容の定着につながっているのか不安がある」「漢字や計算など、紙と鉛筆による基礎的な学習をより重視してほしい」「探究的な学びと基礎学力のバランスを見直してほしい」といった課題や懸念も多く示されました。

「新たな学び(授業DX)」は、渋谷区が進める教育の一つであり、デジタル教材やアプリケーションを活用して、児童同士が考えを共有しながら学びを深めることを目的としています。使用学年や基本方針については学校単位で変更できるものではありませんが、頂いたご意見は教育委員会に伝えるとともに、学校としても真摯に受け止めてまいります。今後も、PC端末を学びの一つの手段として位置付け、発達段階に応じた活用と基礎学習とのバランスを大切にしながら、効果的な授業づくりに努めてまいります。

2 安心・安全に挑戦できる学校

⑥ お子さんは、楽しく学校に通っていますか。

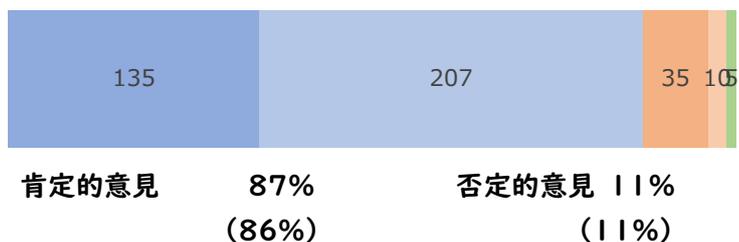
■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



⑦ お子さんは安心して学習に取り組むことができましたか。

■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



⑧ 学校は、お子さんや保護者の相談に誠実に対応していますか。

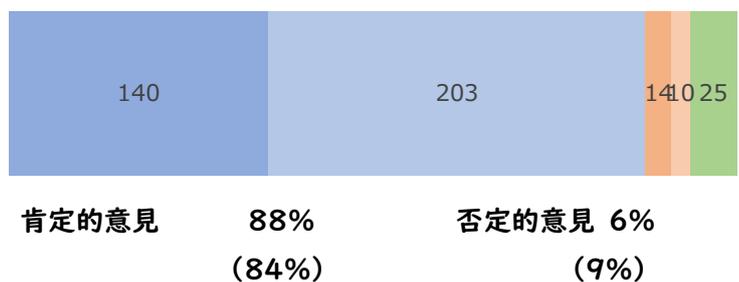
■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



⑨ 学校は、いじめ対応の方針をお子さんや保護者に明確に伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。

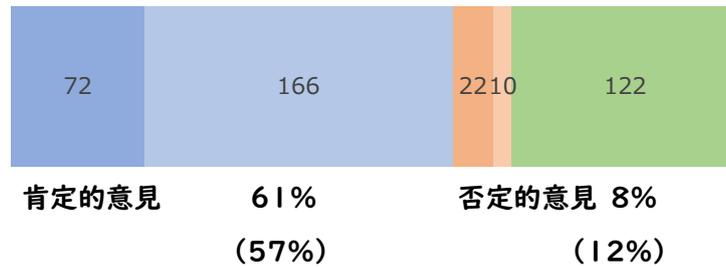
■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



【結果】

アンケートでは、「学校生活が充実している様子で、大きな心配なく楽しそうに通っている」「毎日学校に行くのを楽しみにしている」といった肯定的な意見を多く頂きました。友達や教師との関わりの中で、落ち着いて学校生活を送れている様子がうかがえます。一方、学級の雰囲気や担任の指導・言動について不安を感じている声、学級内のトラブルやいじめへの対応について心配する意見も寄せられました。

頂いたご意見を基に、児童が安心して挑戦できる環境づくりにより一層取り組んでまいります。児童理解を深める関わり方や、保護者の皆様との丁寧な連絡・相談の在り方に関する研修を行います。また、学級のトラブルについては、引き続き日常的に学年団で情報共有を行い、必要に応じて複数の教員で対応します。学年内で対応が難しい場合には、管理職を含め学校全体で組織的に取り組んでまいります。

※学年団…担任に加え、専科教員を含めた5～6名の教員で構成されるチーム。

3 校務DXへの取組

⑩ 学校は、学校だよりなどの配布物や調査について、学校ホームページやHome&school(ホームアンド スクール)などを活用して、ペーパーレス化を推進していますか。

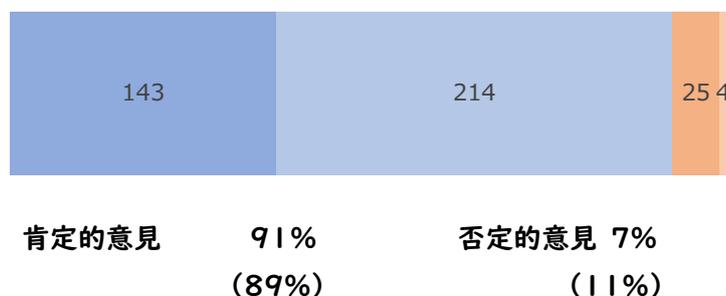
■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



【結果】

アンケートでは、「様々な連絡事項がデータ化され、確認しやすくなった」「地域でどんなイベントが行われているか分かるようになった」といった肯定的な意見を頂き、校務DXの取組が一定の利便性向上につながっていることがうかがえました。一方で、Home&Schoolの表示や通知の分かりにくさ、地域からのお知らせの取捨選択を可能にする手立てを求める声や、連絡が数日分まとめて送られることへの懸念などについてご意見をいただきました。

通知等のデータ化についてはご意見が分かれるところですが、肯定的なご意見が多く寄せられていますので、引き続き校長・学年・担任からの連絡はHome&Schoolを基本とし、学校だより、給食の献立、低学年の週予定等は紙での配布を基本とし、定期的な配信が行われるようにします。また、Home&Schoolの仕様に関しては学校での対応が難しいため、ご要望（表示や通知、並び替え等）については、渋谷区教育委員会へ報告してまいります。

4 家庭・地域との協働

⑪ 学校は、教育の方針を分かりやすく伝えていきますか。

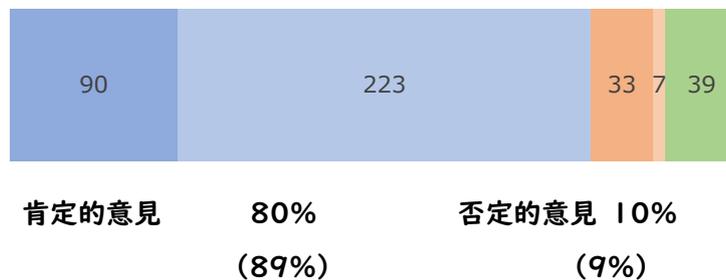
■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



⑫ 学校は、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進していますか。

■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



【結果】

アンケートでは、町探検のお店訪問や校庭開放・つながる菜園等、地域の学びを「良い経験」「生き生きしている」と評価する声がありました。一方、ボランティア募集時期や行事回数への要望もありました。次年度も家庭・地域と協働し、参加しやすい運営を工夫します。

5 特色のある教育活動

⑬ 学校の教育活動は、学校の特色が表れたものになっていますか。

■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



⑭ 学校は、デジタル・シティズンシップ※が身につくようにタブレット端末を適切に活用した教育活動を推進していますか。

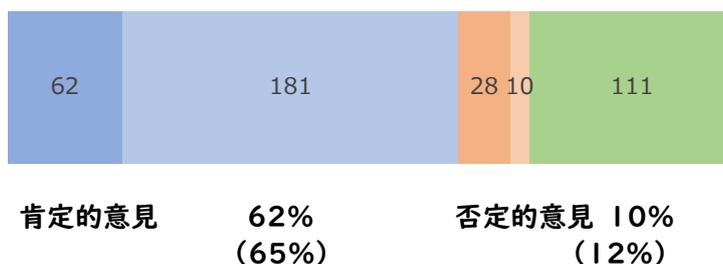
■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



【結果】

アンケートでは、「教科ごとに専門性のある指導が受けられている」、「教科担任制により、さまざまな先生から教えてもらえることで学習が楽しい」といった、本校の特色である教科担任制を評価する肯定的なご意見を頂きました。一方で、タブレットの活用については、「授業と関係のない検索やゲームをしている様子がある」「アプリの使用時間や使い方をもっと管理してほしい」といった懸念も寄せられました。

【今後の対応】

タブレットの使用については、学年段階に応じたルールを改めて徹底し、必要に応じて適切に活用する力を育ててまいります。また、情報モラルに関する指導を計画的に行うとともに、ご家庭とも連携しながら、継続的に指導していきます。

まとめ(校長から)

アンケートへのご回答をありがとうございました。昨年度と今年度の結果を比べてみると、次の項目で成果が見られました。

設問① 自ら進んで学習 肯定的75%→85% (十分に達成 26%→33%)

設問④ シブヤ未来科 肯定的63%→68% (わからない 29%→28%)

設問⑦ 安心して学習 肯定的82%→83% (十分に達成 25%→32%)

設問⑧ 相談に誠実 肯定的84%→88% (十分に達成 29%→36%)

特に①が伸びました。本校では、教員の授業力向上に向けて、「**自立的な学習者**」を育てるための研究を進めてきました。教師から児童への伝達型の学習ではなく、児童自身が課題をもつこと、学習を振り返ること、新たな課題を自ら見出すことといった学習過程を大切にしていこうと取り組んできたことが要因のひとつと考えています。また、令和3年度から実施している教科担任制による学年団としての児童への指導や授業の質の向上、合わせて、**PC端末の活用**が広がり学習方法の選択肢が増えたことも、①⑦の伸びにつながっていると思います。

④の結果からは、**シブヤ未来科**の取組の理解が少しずつ広がっていることがわかりますが、「わからない」が28%あり、まだまだ十分とは言えません。今後は、**校内探究フェスティバル**の充実などにより、取り組みや成果をより外に発信できるようにしていきたいと考えます。

⑦については、**いじめや不登校、個別の支援**が必要なお子さんに対して、まずは話を伺うことを大切に、その上で**スクールカウンセラー**や**いちょう教室**、**つばめ教室**などにつなげるようにしています。

一方、課題としては、次の項目が挙げられます。

設問⑪ 分かりやすい教育方針 肯定的89%→80% (わからない 1%→10%)

設問⑬ 特色のある教育活動 肯定的73%→67% (わからない 19%→25%)

設問⑮ PC端末の効果的な活用 肯定的69%→63% (わからない 19%→23%)

設問⑭ PC端末の適切な活用 肯定的65%→62% (わからない 24%→28%)

学校の様子が分からない、学校の取組が見えないというご意見を複数いただきました。設問⑪⑬⑮⑭は、肯定的な回答の割合が減り、その分「わからない」が増えました。これは、ホームページやHome&Schoolによる発信回数が減ったことが大きな要因であると考えています。また、**学校行事**や**学校公開**においても、児童の活動を見せるだけでなく、その取り組みのねらいや過程をしっかりと保護者の方に伝えていく必要があると考えます。また、タブレットの活用については、書いて学ぶことの大切さ、使用ルールを徹底することについてのご意見がありました。タブレットとアナログをバランスよく利用し、それぞれの良さを生かして学習できるようにしていきます。

教員の指導や落ち着いた学級に関するご意見も数多くいただきました。すべての児童は、成長する力をもっており、それを引き出していく役割を担っているのが教員です。指導力向上への取組は、研究や研修、OJTなどを通して今後もしっかりと取り組んでいます。

設問6 楽しく学校 肯定的86%→87% (否定的11%→11%)

多くの設問がありましたが、やはり最も大切なのは、楽しく学校に通えていることです。87%がよい状態にありますが、11%の児童がそうではないということは、大きな課題です。全員が楽しく通える学校、環境づくりを目指してまいります。

今回の学校評価の結果も踏まえた来年度の計画や具体的な教育活動の変更点については、3月の幡代だよりでお知らせいたします。